令和２年度　大阪府立旭高等学校　　第２回学校運営協議会

日時：令和２年９月３０日（水）午後２時００分～午後４時００分
場所：本校視聴覚室
委員

会長	森　勇太	関西大学　准教授	出席
	辰巳　千佳子	大阪市立旭陽中学校　校長	出席
	北浦　正美	大阪市立高殿小学校　校長	出席
	佐藤　章子	平成 30、31 年度　ＰＴＡ副会長	出席
	上江洲　弥生	令和 2 年度　ＰＴＡ会長	出席
	寺前　里美	令和 2 年度　ＰＴＡ会計	出席

■授業（6 限）見学

- 体育（1 年女子）、世界史Ａ（2 年）、古典（3 年）、音楽（1 年）を順次見学

■報告・協議等

１．広報活動について報告

- オープンスクールをはじめとする今年度の広報活動は、コロナ感染防止のため例年通りには進まず、大幅な変更を余儀なくされた。大阪市内各区の PTA 協議会や各種団体の多くの説明会が中止、またはウェブでの説明会（学校紹介動画の紹介、電子パンフレットのネットへのアップ）となった。
- 鶴見区の説明会では、会場に各高校の教員等が集められ、そこに置かれた８つの動画撮影用（ライブ式）のブースそれぞれに分かれて、ネットを通じて参加する中学生や保護者に説明するという形式だった。パソコンを通しての質疑応答では、中学生より保護者の方からの質問が多かった。
- ここ数年、本校のオープンスクールでは、1 回につき 600～700 人、3 回で約 2000 人の中学生・保護者が参加してくれていた。したがって、今年度のオープンスクールは密集を避けるため、1 回の参加者を 350 名程度とし、さらに参加者を中学 3 年生と保護者 1 名に限定した。そして、参加希望者が多ければ抽選によって参加人数を制限することとした。

２．修学旅行について

- 大阪府教育庁のガイドラインに沿って、修学旅行の準備を進めている。ガイドラインの内容を保護者に周知するため、修学旅行参加の最終同意書の提出をお願いした。2 人の同意書が出ていないが、個人的な理由での欠席であり感染症への不安という理由ではないことを確認している。
- 海外への渡航が困難な状況で、行き先を台湾から北海道に変更した。本校では、過去に北海道で修学旅行を実施したこともあり、6 月に変更を決めた。大阪の高校生が来るということで、旅行社･ホテルが率先して感染症対策を万全に整えているとのことである。

- 生徒の中には「台湾に行きたかった」という声も聞くが、北海道でもやむを得ないと理解してくれているものと考えている。

３．学校行事について

- 体育祭や文化祭などの学校行事をやむなく中止とした。他に何かできないかと考え、生徒アンケートも踏まえて、9 月 25 日に遠足を実施することとした。
- 歌コン・ダンス甲子園は、従来文化祭で行っているイベントであったが、密集を避けるため 3 年生のみが参加できるイベントとし、9 月 19 日（土）午後に実施した。
- 毎年 2 学期にＨＲの時間を利用して学年ごとに行っている球技大会を 3 年生は、生徒の発案で「ミニ体育祭」として実施する計画である。
- クラス一丸となって活動できる機会を作るため、1，2 年生の間でも何か実施したいと考えている。

４．質疑応答など　（●委員　□学校側事務局員）

●：教室には人数が多いが、部屋の環境はどのようにしているのか。

□：換気のために、エアコンのついている夏の時期でも、教室の前後のドア・窓を 5 ㎝～10 ㎝必ず開けるようにしている。また、本年はマスクを外せないため、例年に増して熱中症の危険が高まり、それへの対策が必要であった。そこで本年は、（マナーに反して授業中に飲み物を飲む生徒などこれまでいなかったのだが、）授業中いつでも水分補給してよいことにした。また、教員・生徒とも必ずマスク等をするようにし、授業中に向かい合って討論するような取組みは、最低限の時間で行うこととした。

●：広報活動ではウェブでの実施が多いと聞いたが、中学生の反応はどうだったか。

□：ウェブを使っての説明では、10 数名の方（保護者が多かった）と質疑応答したが、ウェブでの慣れないやり取りで正直やりづらく思った。大人はともかく中学生にどれぐらい本校のアピールが届いたか不明で、中学生にとってウェブでの高校説明会はハードルが高いように感じた。本校としては、これから学校を担っていく若い教員を中心に、課題を克服しオンラインに対応していきたい。

●：これまでは中学校に高校の教員が来てくれて、直接中学生にオープンスクールなどの案内をしていた。私立などはウェブで進学相談を受け付けると宣伝しているところもあった。

●：（別の委員より）中学校でのオンライン授業はどのような具合か。

●：（高校と同じで）委員会からのオンライン授業を進めなさいとの指示で、「チームス」（注：Microsft のコミュニケーションツール）を使い試験的に進めている。ともかく、中学校の目線としては高校選びは、やはり一度は学校へ足を運んでほしいと思っているので、オープンスクールの実施はうれしい。中学生も期待している。

□：中学生の保護者にも、通学路の様子、学校の雰囲気などについて見てもらうことは大切だと考えている。感染防止の対策をしつつオープンスクールは実施していきたい。

●：教室での生徒たちの様子を見て、高校生は体も大きいしやはり密だなあという印象だ。そうした中で行われている学校生活なので、平熱がもともと高い生徒が、体調が悪くなくても 37℃程

度になることがあると思うが、周りへの影響を考えてしまって学校に行きづらいことがあった。37.5℃程度で風邪症状があれば大事をとって休むようにということを言われているが、もう少しきっちりと基準を出すことはできないだろうか。受験が近付いてきたときなど登校させるか休ませるか、ストレスなく決められる。

●：また、グーグルクラスルームでオンライン授業を進めていこうとされているが、高校生は、スマホは使えてもグーグルなどはまだまだ使いこなせていない。先生からグーグルクラスルームで、仕上げた課題を画像にして提出するように指示されたが、生徒は対応するのが難しかったようだ。これからもオンラインを使っての学習は続いていくと思うので、どんどん活用して教員も生徒もお互いに慣れていくことが大切になるのではないか。もう少し早い段階から課題をやり取りする練習をさせて欲しい。

□：１年生では、グーグルクラスルームを使い、毎日の勉強時間のアンケートを取ったりしているが、授業においては教科担当者によって使用の頻度に差がある。10 月には、各教科から課題を出して生徒が提出するという試行を、もう一度おこなう予定である。教師も生徒も慣れていくことが必要である。教育庁からの指導に沿い、今後もオンライン授業に対する教員研修を進めていく。

●：子どもの視点に立てば、（半ばあきらめていた）遠足や修学旅行に行けることに感謝している。学校生活や行事にさまざまに制約がある中でもうまくやっていけるように、できることを見つけ授業や行事を進める先生や生徒の姿勢に感動をした。（音楽の授業で歌やリコーダーができない代わりにバイオリンをする、3 年生や生徒会の自発的な行事など）教員たちは子どもたち第一に考えてくださっており、とても感謝している。

□：そうした見方をしていただき、励みになる。PTA 活動があまりできていないことは残念だ。今後の感染状況により、変更を余儀なくされることが多いかもしれないが、本日のご助言を踏まえ教育活動を進められるよう、努力していきたい。